

# 活ける泉

**年間聖句**  
あなたがたは、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。  
ペテロの手紙一4章10節

## 新学期を迎えて

校長 大岩 厚

春先の3月は、数日暖かくなったかと思うと急に気温が低下して、「三寒四温」と言われます。ソメイヨシノの花は、早目の開花が予測されたものの、気がついてみるとほぼ平年並みだったでしょうか。新型コロナウイルスの流行の収束は見え、自然災害や権力者による一方的な侵略が起こっている世の中ではありませんが、季節は巡り新学期が始まります。

皆さんは、新たな決意を持って新学期の生活に臨んでいることと思います。進路のこと、学習のこと、各種活動のこと、そして友達との付き合い方など。どうぞ、その一つ一つの決意を大切にしてください。先日、活水女子大学を卒業し国際線のキャビンアテンダントとして勤務している方の話を聞く機会がありました。「決意を実現させるためには、<ステップ・イン>一歩踏み込む勇気と努力が大切だ。」と話されたことが記憶に残っています。

さて、今年度の学院聖句「あなたがたは、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。(ペテロの手紙一4章10節)」が選ばれました。

神様のさまざまな恵みや賜物とは何か。

互いに仕えるとはどういうことか。

その意味するものをそれぞれ考えてみてください。互いに仕えるとは、仕え合うと言い換える事ができます。神様の恵みに感謝して、神様から与えられた賜物(たまもの：才能あるいはタラント)を活かして仕え合うことで、お互い助け合える。「しあわせ」とは、人と人との関わりの中で気づき、分かち合うものだとこの聖句は教えてくれているように思います。

皆さんは、この活水高等学校、活水中学校に通っています。それは、「神のさまざまな恵みの善い管理者として」皆さんが神様から選ばれた存在である、ということです。皆さんは、神様から選ばれ、そして愛されている一人ひとりなのです。

ですから、どうぞ自分を大切にしてください。そして、自分の価値に目覚めるとともに、自分と同じように自分の隣にいる友だちも大切にしてください。世界中が新型コロナウイルスの試練に直面しています。また、ウクライナの人々がおかれている状況や、それに関係する世界の国々の対応で、私たちもまた無関係にいることは出来なくなっています。その様な中で、今、私たちは何をすべきなのか、何を学ぶべきなのか、出来ない事を嘆くのではなく、出来る事を考え、<ステップ・イン>していきたいと思えます。

これから始まる新学期の私たちの歩みの上に、神様の祝福と恵みが豊かにあるようお祈りします。

## 中学卒業式なごやかに

3月11日(金)、1・2年生、保護者の見守る中、卒業式を行うことができました。

式は、讃美歌を歌うことはできませんでしたが、祈りが捧げられる礼拝形式で行われました。担任から名前が呼ばれ、一人ひとり校長から卒業証書が手渡されました。校長式辞の後、戸村楓さんが学校生活を振り返りながら、先生やクラスメート、そして両親への感謝を述べました。式の後、担任からの挨拶、3年間の子どもの様子を振り返るスライドの後、オンラインで教室をつなぎ最後のHRの様子を上映しました。一人一言メッセージでは、普段口にしない思いを伝え、温かい雰囲気



HRとなりました。保護者・ご家族の皆様には、これまでの教育活動へのご協力を感謝いたします。お子様のこれからのご活躍をお祈りしています。(文責：奥田牧子)

## 中学お別れ行事

2月28日(月)中学校お別れ行事がチャペルで行われました。いろいろな行事でお世話になった3年生に感謝の気持ちを込めて、1年生と2年生から花とメッセージが送られました。コロナの影響で、歌や出し物などはできませんでしたが、卒業生一人ひとりからのメッセージは、それぞれの3年間の思いが込められていて、みんなの心に残りました。

(文責：長門祐二)



## 中学ダンス発表会

中学ダンス発表会は、3月3日(木)6校時におこなわれました。今年のテーマは、「喜踊愛楽」。作品は、基本作品のマツルカと創作ダンスで、各クラスのダンス委員を中心に構成を考えました。

中学1年生は、マツルカの隊形移動では、喜怒哀楽の顔を表現し、創作ダンスは明るく、可愛いダンスを披露しました。中学2年生は、昨年のダンス発表会から成長を見せ、創作ダンスでは、たくさんの曲に合わせ、団結力のあるダンスを披露しました。中学3年生は、喜踊愛楽にテーマにそって、それぞれを表現し、素晴らしい作品に仕上げました。今年は、各クラスの担任とダンスを披露しましたが、クラスの団結力を感じ、いいダンス発表会になりました。

結果は、以下のとおりでした。

1位：中3 2位：中2 3位：中1

(文責：向井杏奈)



29 (金)	28 (木)	27 (水)	26 (火)	24 (日)	23 (土)	22 (金)	20 (水)	19 (火)	17 (日)	16 (土)	14 (木)	13 (水)	12 (火)	11 (月)	9 (土)	8 (金)	
昭和の日	歓迎遠足(稲佐山)	一次検尿②・歯科検診②	高三同盟指定・国立大説明会	教会出席日	高三土曜課外	高全スタデイサポート	面談週間(22日)	歯科検診①	全国学力学習状況調査(中三)	イースター礼拝	特進ⅡⅢ土曜課外	一次検尿①	高三看護説明会	高一X線・心電図検査	高三進路説明会	特別時間帯1	始業式
																	新入生オリエンテーション

### 4月行事予定



## 今月の聖句 - 2022年度学院聖句について -

学院宗教主任 崔 炳一

2022年度の学院聖句は「あなたがたは、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい」(ペテロの手紙一4章10節)です。この聖句は私たちに人間とは何者なのか、また何のために生きるべきなのか、を教えていると思います。人間とは神様の「善い管理者」であること、また互いに仕え合う者です。そこで何をもちて仕え合うべきかと言いますと、神様から与えられている賜物です。それを神様の「恵み」と言っています。

私たちは神様の賜物を用いて互いに奉仕する者で、そこに生きる意味があります。また、すべての人はそれぞれ賜物を与えられていますので、人のために奉仕できない人は一人もいません。わたしたちは神様の恵みを用いて仕え合うから、すべての人は「善い管理者」になるはずですし、私たちの人への奉仕は多岐にわたるはず。それが神様の豊かさです。奉仕する意味をこの聖句から深めていけたらと思います。

# 高Ⅰ探究大賞発表会 実りのうちに

3月8日(火) 5~7校時 高Ⅰ活ける水キャリアデザインプログラムの一環として「第1回探究大賞発表会」が実施されました。普通科28グループのうち、選考会で選出された8グループ、および英語科の代表生徒3名がそれぞれ発表を行いました。各グループは、昨年9月の初めから「地域を知ろう」というテーマのもと長崎や身の回りのことから課題を設定し、準備を進めてきました。大賞にはA組1班の「SNSを使って若者に長崎の魅力を伝えよう!」、優秀賞にはD組8班の「精霊流しについて」およびD組5班の「長崎と海洋プラスチックゴミ」が選ばれました。

大賞を受賞したA組1班の生徒からは、「最初はただひたすら調べるだけで、こんなことをして何になるのだろうと思っていました。ですが、この探究の後、今まで見ていた街の景色が少しちがって見えるようになりました。観光という視点から眺めるようになっていて、ここいいよねとか自然と感じている自分がいました」と感想を述べてくれました。

会の最後に、活水女子大学副学長の吉田峰明先生、日本文化学科の八坂徳子先生、生活デザイン学科の古賀竣也先生、および山口大学教育学部の原田拓馬先生より、それぞれ講評をいただきました。今回の発表会では、聴いていた生徒たちの視聴態度も非常に良く、タブレットに感想を記入する際にも、みんな私語をすることもなく、ただ入力する音だけがチャペル内に響いていました。発表者はもちろん、聴いていた生徒にとっても実りのある会となりました。(文責 古田雄介)



## 英語科発表会

3月5日(土)に英語科Ⅰ年生による、第19回英語科発表会が行われました。1年間の学びの集大成として、レシテーション、プレゼンテーション、スピーチをそれぞれ一人ずつ発表しました。準備期間は約半年。原稿作りや英文を覚える作業はとても大変でしたが、困難を乗り越えた後の生徒の顔は清々しく、発表会後は達成感に満ち溢れていました。この経験が自身の英語学習に生かされますように。(文責:西岡舞)

(生徒の感想 抜粋)

- 努力した分、自分の力になることを実感した。
- 周りの生徒から刺激をもらうことが多くあった。
- 英語を頑張りたいという気持ちが強くなった。
- コンテストにも挑戦したい。
- 人前で話すことに自信がついた。



## 球技大会盛り上がる

3月17日(木)今年度最後の行事、球技大会が開かれました。

種目はソフトバレーボール。中学校は一・二年縦割りで赤と青の対抗を行い、最後の1班が74対74の同点でタイムアップ。延長戦を行い、最初に1点をとった赤チームが勝ちました。高校はクラス対抗で、まずは学年別のリーグ戦、ⅠC・ⅠD、ⅡB・ⅡCが勝ち上がり、Ⅰ・Ⅱ年対戦で準決勝を行い、勝ち進んだⅡBとⅡCが決勝を行い、ⅡCが優勝しました。

マスクをしたままでスローなゲームの展開のほすが、マスクのまま大いに盛り上がりました。

(文責:平野智也)



## 高Ⅱキャリアについて考える—系統別分科会

3月10日(木)6校時、高Ⅱ「キャリア教育プログラム—系統別分科会—」が実施されました。117名の生徒が19グループに分かれ、「大学で学びたい学問分野」や「自分の夢」についてプレゼンテーションを行いました。各グループには、講師として、活水女子大学からは7学科15名、長崎国際大学(薬学)、西九州大学(心理学)、大村美容ファッション専門学校および長崎歯科衛生士専門学校の先生方各1名に参加いただきました。

活水女子大学食生活健康学科の阿南先生は「生徒の発表内容は本当に素晴らしかったです。どの生徒も自身が興味のある進路について、様々な情報を含めて発表していました。とても感心したのが、そのような情報をただ発表するだけでなく、なりたいたいと思ったきっかけや、その仕事に就いてどんなことがしたいか、自身が向いていると思うところなど、自分自身の想いや考えを含めて発表してくれたところです。自身のキャリアについてよく考えることができていると感じました。」と感想を述べられていました。

発表後のアンケートでは、「今後の進路について考えることができましたか」という質問に対して、72%の生徒が「とても当てはまる」、25%の生徒が「当てはまる」との回答しており、これからⅢ年生となり、進路実現へ向けて貴重な経験となりました。(文責 古田雄介)



## 高Ⅱ音コース発表会

3月12日(土)チャペルにて、高校Ⅱ年生音楽コースの発表会を行いました。この1年間の集大成としてこの日に向け6名の生徒達はそれぞれ練習を積み重ねてきました。

保護者の方々や各レスナーの先生に見守られながら立派な演奏会となりました。4月からはいよいよⅢ年生です。それぞれの進路に向けてさらに飛躍してくれることを期待しています。(文責:杉町たまみ)



## 音楽学部提携プログラム発表会

3月13日(日)、活水女子大学小チャペルにて、第1回音楽学部提携プログラムの演奏会を行いました。

このプログラムでは、音楽大学進学希望から音楽に興味がある、音楽が好き!という受講生13名が集まり、毎週7時間目に音楽の専門的な学習を行っています。5教科の学習をしっかりと行い、かつ大好きな音楽の学習を行ってきた1年間の発表でした。

独唱・ピアノ・管楽器・弦楽器の独唱独奏に加えアンサンブルなどを生徒同士で工夫し演奏しました。また、最後には13名による合唱もあり(手づくりの楽譜も大変素敵でした)大変感動的でした。来年度は新1年生も加え、さらに活気のある活動となることを期待しています。

(文責:杉町たまみ)



## 大会等成績

〈表彰〉

日本私立中学高等学校連合会会長賞

高校生 藤村結

中学生 小島穂花

〈音楽〉

全日本ジュニアクラシック音楽コンクール

ピアノ部門高校2年生の部 本選合格証

(全国大会出場権獲得) 三浦蓮月

PIARAピアノコンクール九州Ⅰ地区大会

シニアB部門 最優秀賞 三浦蓮月

〈弓道〉

長崎地区弓道選手権大会 高校生の部

女子個人 4位 上川内七海

長崎県高等学校弓道新鋭王座決定戦

女子の部 2位 森永芹加

(文責:山口真樹人)